函館山の麓、西部地区からまちづくりを一緒に！

はこまち通信 クーポラ

2021.10
vol.58

まちづくりセンターからのお知らせ

NPOまつり 2021 オンライン開催！

※詳細はP4

グラフ@まちせん　※詳細はP2

ゲストのトークや移住に関する質問をチャットで受付　※詳細はP6

Contents

■ 特集
グラフ@まちセン ……P2

■ **NPOまつり開催のお知らせ** ……P4

■ 一歩ふみだしました！
函館・道南の市民活動団体トピックス ……P5

■ クーポラ便り
オンライン移住セミナー開催
■ 配布先／問い合わせ先 ……P6

■ INFO & TOPICS ……P7

■ センター長 丸藤の
『いま 伝えたいこと』 ……P8

11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナーシップで目標を達成しよう
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

●まちづくりセンターで行われている講座案内や市民活動団体などの詳細は、ブログやホームページをご覧ください。
●まちづくり、市民活動、各種助成金、移住・定住に関する問い合わせなど、お気軽にご相談ください。

発行／函館市地域交流まちづくりセンター
https://hakomachi.com

あなたの町名はどこですか？ グラフ@まちセン

地域交流まちづくりセンター（以下まちセン）内に掲示中の人口グラフ、もうご覧になりましたか？2015年の国勢調査等のデータを基に、函館市の地域（町名）ごとに子どもや高齢者・高齢者のひとり暮らし世帯の割合などが一目で分かるよう、グラフで表したものです。このグラフから見えてくる現状と課題、活用の仕方、来館者から寄せられた驚きの声をお伝えします。

（2021年8月31日）

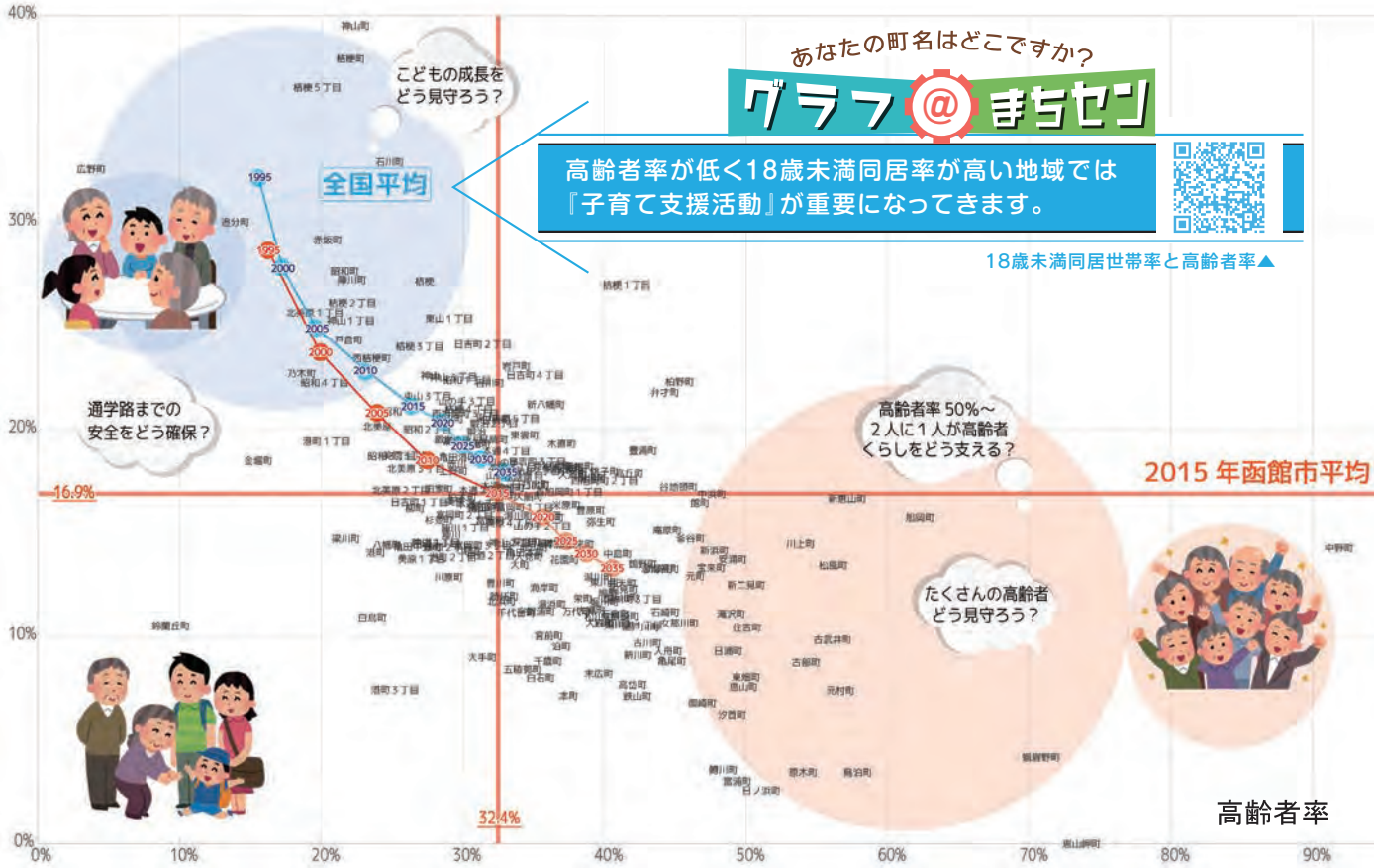
まちセン内に掲示しております。

地域の課題をデータで『見える化』

作成のきっかけは、まちセンで3月に開催した川北　秀人さん（IIHOE［人と組織と地球のための国際研究所］代表者）の講座です（前号vol.57参照）。国勢調査等が発表した数字を羅列したものより、グラフで表示した方が一目瞭然。地域の課題も把握しやすいことから『グラフ@まちセン』の作成に取り組みました。5月より館内に掲示したところ、多くのご質問が寄せられています。全4枚中、一部抜粋してご紹介します。

グラフ@まちセン　PDFデータ(全4枚)をダウンロードしたい方はこちら▶

18歳未満同居世帯率



あなたの町名はどこですか？ グラフ@まちセン

高齢者率が低く18歳未満同居率が高い地域では『子育て支援活動』が重要になってきます。

18歳未満同居世帯率と高齢者率▲

3Pへ続く▶

住みやすいまちをめざして課題を共有しよう

地域住民の世帯や年齢層は日々刻々と変化しています。「函館は少子高齢化がすすんでいる」といった従来の大雑把なイメージから脱却し、ときには**これまでの取り組みを思い切って見直すことも必要**です。まずは各町会の役員の方々や地域住民のみなさんが、国勢調査の数字から見えてくる「地域の課題」を共有しあうところからスタートしませんか?地域の皆さんの対話のツールとして**『グラフ@まちセン』**をおおいに役立ててもらいたいです。

活用例・似ている地域を探してみよう

このグラフで隣あった町は、人口構成が似ているため抱える課題も近いことを示しています。グラフの位置が近かった町会同士で連携、協働で活動を推進するのも、課題解決のひとつの方法です。

来館者の反響・声

「函館は子どもが少ないとよく聞きますが、子どもが多いエリアもあるのですね」「旧4町村のエリアでは高齢独居率が低いのですね。多世代で暮らしているということでしょうか?それは安心ですね」
「高齢者が多い=西部地区だけという考えを改めました」

まとめ

函館の少子高齢化はどのくらい進んでいるのか、全国平均と比べてどうなのか、高齢者のひとり暮らしはどのエリアが多いのか、ひと目でわかる**『グラフ@まちセン』**の作成により、多くの声が寄せられました。新聞でも大きく取り上げられ、切り抜きを持参して来館される方も多かったです。

反響の大きさは、自分たちが暮らす地域に関心を寄せている方がいらっしゃることの証です。ぜひ地域のみなさんで話し合ってください。

まずは自分たちの住むまちを知ることからはじめませんか?

■地域の課題解決に向けての新たな視点

- 町会の役員の方々 → 地域の実態や課題を知り、これからの活動に役立てる
- 地域住民のみなさん → 自分が暮らすまちに興味や関心を持つ
  子どもは地域で育てる　地域でお年寄りを見守る

グラフ@まちセンとは

2015年までは総務省「国勢調査」を、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)2018(平成30)年推計)」を抜粋しています。
最新データが公開されましたら刷新します。

活用したい町会のみなさま

函館市地域交流まちづくりセンター
センター長 丸藤までお問い合わせください。
丸藤は函館市の町会活性化アドバイザーも務めております。

各種お問い合わせ：函館市地域交流まちづくりセンター ☎0138-22-9700

函館・道南で活動する市民活動団体のみなさま

「第17回 NPOまつり」オンライン開催!!

10月3日(日)

講 師／大泉　潤 氏
（函館市保健福祉部 部長）

2021年は
「一歩ふみだそう」をテーマに
オンラインで開催します。

10月4日 受付開始

11月7日(日)

講 師／高橋　優介 氏
（ワークショップデザイン
describe with 代表）

11月8日 受付開始

12月5日(日)

司 会／丸藤　競
（地域交流まちづくりセンター
センター長）

<Zoom交流会でできること>

- ■共感できる仲間を見つける
- ■協働で地域の課題に取り組む
- ■コロナ禍での他団体の取り組みを参考にする

<同時開催・公開>

- ■Webポスター展（30団体）
- ■PR動画（13団体）

主催:NPOまつり実行委員会

各種お問い合わせ　函館市地域交流まちづくりセンター内　☎0138-22-9700　FAX0138-22-9800

一歩ふみだしました！

函館・道南の市民活動団体トピックス

私もやってみたい！
一緒に応援しませんか？

函館・道南で活動する市民活動団体の最新情報をお届けします。広報誌クーポラ掲載希望の団体も随時募集中！
まちづくりや市民活動に興味をお持ちの方はまちセンまで。
もしくは直接、それぞれの市民活動団体までお問い合わせを。

- 団体の会員になって共に活動したい方
- ボランティア活動に興味がある学生の方や一般の方
- 団体の活動を物資や資金面で支援したい方
- 市民活動団体と協働で取り組みたい方
- 地域を支える人を取材したい学生・メディアの方

NPO法人 市民創作「函館野外劇」の会

昼公演にチャレンジ！

感染症対策を講じて2年ぶりに開催しました。テーマソングが流れるフィナーレでは客席からあたたかい拍手が沸き起こりました。引き続き今後の活動に向けて、個人団体問わず寄付を募っています。

強い日差しが照りつけるなか、出演者はマスク着用で熱演！▶

▲団体HPはこちら

NPO法人 北海道坂本龍馬記念館実行委員会

オンラインイベントにチャレンジ！

まちづくりセンターが主催する『Zoom（ズーム）全体練習会』の様子を見学し、開催当日の流れや事前準備等についてアドバイスを受けて開催しました。

8月25日（水）オンラインイベント初開催！▶

▲団体HPはこちら

NPO法人 ナルク函館はまなす

ホームページ開設！

ボランティアをしてみたいと考える学生、社会人、高齢者など、幅広い世代に向けて情報を発信するためHPを開設しました。活動写真を多数掲載し、団体の理念などが一目で伝わるよう工夫しました。

制作費等無料のホームページ作成ツールを選択し、費用を抑えました▶

▲団体HPはこちら

制限がある今だからこそ、
地域にはNPO・市民活動団体の
活動が必要です。

最大限の対策を行って → 緊急時には柔軟に判断して → 活動を止めない

市民活動団体のみなさん！ 函館道南のNPO・市民活動をサポートする地域交流まちづくりセンターにご相談ください

北海道の市民活動の継続に向けて

北海道内中間支援組織「コロナアクション」
2021年8月11日付の関連ページはこちら▶

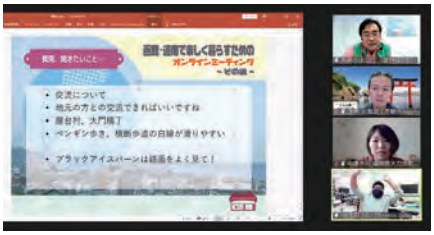
新型コロナウイルス感染症対策活動団体支援協議会
こちら▶
https://covid-19.npoproject.hokkaido.jp/

団体の活動のヒントに！NPOまつりオンラインにもどうぞご参加ください（P4参照）

クーポラ便り　聞いてみよう！函館のこと！「移住サポートセンター」より

8/29（日）　チャットで質問を受付！オンライン移住セミナー開催報告

初のオンラインによるセミナーに30人近いお申し込みをいただきました。前半はゲストの3人（浅見さん、中津さん、中村さん※右参照）が体験された生の声をお話しいただきました。後半の質疑応答ではZoom（ズーム）のチャット機能を使ってたくさんのご質問が寄せられ、ゲストに答えていただきました。



質問と回答（抜粋してご紹介します）

Q：ツルツル路面の歩き方は？

A：ペンギンのように歩くと良いですよ!!

移住サポートセンター（函館市地域交流まちづくりセンター内）▶

浅見 尚資 さん（関東 → 木古内町 → 江差町）
一般社団法人 北海道江差観光みらい機構 事務局長

中津 歩弓 さん
（名古屋市 → 七飯町 → 東京 → 福岡県大刀洗町）
福岡県大刀洗町地域おこし協力隊 地域ブランドデザイナー

中村 拓也 さん（函館市 → 関東 → 函館市）
株式会社 函館ラボラトリ コワーキングスペース「MIRAI BASE」
プログラミング・工作教室「Bラボ」担当

配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポラ』2021年10月　vol.58

■発行／ 函館市地域交流まちづくりセンター
■住所／〒040-0053　北海道函館市末広町4-19
■TEL／0138-22-9700
■FAX／0138-22-9800
■開館／9:00～21:00
■休館日／12月31日～1月3日

https://hakomachi.com

このほか器材点検のため月１回程度、臨時休館する場合があります。
詳しくはセンター内やWebでお知らせしています。

建物裏手に駐車場あり。
２時間まで無料。

指定管理者／
NPOサポートはこだてグループ
（2007年４月～）

『はこまち通信クーポラ』編集室だより

10月～12月にオンラインでの「NPOまつり」を開催します。オンラインであっても交流できるよう、準備を進めています。一歩ふみだし、いろんなことにチャレンジする市民活動団体のみなさまをサポートしていきます。　（編集長／谷口 真貴）

●主な配布先（敬称略）
函館市役所1F／亀田支所／湯川支所／銭亀沢支所／戸井支所／恵山支所／椴法華支所／南茅部支所／函館市中央図書館／渡島総合振興局／函館市企業局アクロス十字街／総合保健センター／函館市民会館／函館アリーナ／函館市女性センター／函館市青年センター／函館市公民館／函館コミュニティプラザGスクエア／函館市青少年研修センター ふるる函館／中島れんばいふれあいセンター／函館市総合福祉センターあいよる21／函館市勤労者総合福祉センター サン・リフレ函館／亀田交流プラザ／どさんこ交流テラス（東京 有楽町）
取材に協力くださったみなさま、施設等

『はこまち通信クーポラ』に関するご意見、ご感想をお寄せください。HPにメールフォームがございます。

次号は1月4日発行予定です（年4回）

事前申込制 ※月に一度平日開催　市民と移住者の集い まちセン茶論（サロン）

参加者同士が顔見知りになり、交流を図る場としてお気軽にご利用ください。はこだて暮らしコンシェルジュ谷口がみなさんのご相談に応じます。

10:30〜11:30（午前の部）と
13:30〜14:30（午後の部）の
どちらかをお選びください。
事前申込制、定員各5名。
参加費無料です。

【今後の予定】10月12日（火）
11月 9日（火）
12月14日（火）

▲感染症対策に気をつけて開催しています

2021.10.20（水）・10.21（木） ※定員あり　楽しく学ぼう！まちづくりひろば2021

1講座から受講OK。複数のお申し込みも可能です。
詳細はまちセンHPをご覧ください。定員になり次第締切です。

講師の高橋 優介さん▲
（「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーター）

①10/20(水) 13:30〜 ローカルダイアログ（参加費無料）
②10/20(水) 18:30〜 SDGs（エスディージーズ）入門（参加費500円）
③10/21（木）10:00〜 なくそう！フードロス（参加費500円）
④10/21（木）13:30〜 気候変動・防災避難ワークショップ『風水害24』（参加費無料）

会場 函館市地域交流まちづくりセンター2階 多目的ホール

※②③の参加費は
当日会場で受け付けます。
※①は函館初開催です。

このような方におすすめの講座です

行政・SDGsやCSR部門を担当する企業の方、教育機関、飲食業、NPOや市民活動団体、ボランティアや社会貢献に興味をお持ちの方、町会の方、福祉・観光・防災に関心をお持ちの方

2021.9.19（日）　3施設合同スタッフ研修

川北秀人さん（IIHOE代表者）を講師に招いて3施設合同のスタッフ研修を開催しました。人材育成・施設の運営をすすめるにあたって『半人前チェックリスト』『一人前チェックリスト』の活用方法、団体間の意見交換等も活発に行われました。今後も情報を共有していきます。

講師の川北 秀人さん▲
（IIHOE代表者）

《参加施設》
函館市女性センター／北海道坂本龍馬記念館／函館市地域交流まちづくりセンター

各種お問い合わせ　函館市地域交流まちづくりセンター　☎0138-22-9700

水曜マルシェは引き続き休止中です。

センター長 丸藤の「いま 伝えたいこと」

市民活動は不要不急の活動ではありません

昨年から続く新型コロナウイルスは、未だ収まる様子を見せていません。その間、多くの市民活動団体が影響を受け、活動を停止した団体も少なくありません。また、目に見えない同調圧力等のため心理的圧迫感を感じている団体もあると聞いています。

感染拡大を防ぐためには、不要不急の行動を控え接触を避けることが大切なのは言うまでもありません。しかし、不要不急という言葉が独り歩きし必要以上の萎縮を生んでしまうことで、本来やらなくてはいけない課題解決に向けての活動が妨げられてしまうと、取り残された課題はより大きくなるばかりです。

市民活動は不要不急の活動ではありません。むしろ影響が長期化されるなか、市民活動の必要度はより高まっています。「今だからこそできる支え合い」を創造していくことで、多様化深刻化していく社会の課題解決をしていくことが求められています。

これまで経験したことのない困難の中だからこそ、市民活動の力で「誰ひとり取り残さない社会」をつくっていくことが必要です。私たち『まちづくりセンター』と一緒に乗り越えていきましょう!

1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- 営業時間／10:00～15:00
- 定休日／土日祝日・施設休館日
- 授産製品を扱っています。
  函館みやげにオススメのクッキーをはじめ、
  布バッグや布ぞうりなどのハンドメイド雑貨も豊富です。

【オススメ】土偶ッキー 800円(2枚×6袋入 税込)
北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録で
土偶ッキーも大人気です。

1F 喫茶コーナー Cafe DripDrop

- 営業時間／10:00～17:00（変更の場合あり）
- 定休日／水曜日・施設休館日
- 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか?
- 営業時間など最新情報は
  お店のSNSをご覧ください▶

【オススメ】カフェ・オレ 450円(税込)
濃いめのコーヒーに泡だてたミルクを注いだ
口当たりなめらかなオレです。

[喫茶・ショップお問合せ先] 電話 0138-22-9700 函館市地域交流まちづくりセンター

『団体の活動を継続させるためのポイント』はP5下段をご覧ください